

未来が輝く「躍動とくしま」		未来へ紡ぐ「強靱とくしま」		未来を拓く「創造とくしま」	
未来・笑顔とくしま戦略	共生・活躍とくしま戦略	安全・安心とくしま戦略	循環・継承とくしま戦略	革新・成長とくしま戦略	魅力・交流とくしま戦略
<p>(結婚・出産・子育て支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> 助け合いや支え合って、家族を孤立させずに安心して子育てができる環境となっている。 働きながらでも安心して子育てができる環境がある。 地域のコミュニティがしっかりして、安心して子育てができる地域。 男性・女性に関わらず、子育てに必要な理解・環境について、アンケートを行い、それを実現する。 出産や子育ては自分たちだけではなく、いろんな人に支えられて成り立つもの。子供が生まれても働きやすい環境があったり、子供を預けられる保育所などの施設が整っていたりするととても良い。 	<p>(ダイバーシティ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人種、国籍、障がいの有無に関わらず、多様な人材の活躍が図られている。 すべての人が多様性を認識し、受け入れ、活躍することができる社会となっている。 高齢者と若者が助け合いながら生き生きと過ごすことができる徳島。(再掲) 高齢者や障がい者が快適に過ごせるようにユニバーサルデザインの設備を増やす。 お互いを認め合い、尊重できる社会。結婚やお付き合いなどについて、もっと自由になってほしい。 	<p>(防災・減災)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の方々と一緒に、防災マップを作成し、参加しなかった地域の方にも共有するなど、地域全体で防災対策が出来ている。 老若男女問わず幅広い層の交流を保つことが重要。巨大な災害が起こったときの助け合いを円滑に行うために、もっと災害への正しい知識を共有し、活用していく機会を設ける。 それぞれが災害に対する正しい知識を持ち、防災グッズや避難経路などを理解しておく必要がある。また、学校や企業などで避難訓練を行うべき。 災害時の避難場所や確認や避難訓練などの備えを徹底する。 徳島には児童養護施設が少ないため、大規模災害に備え、防災士の養成と里親制度を同時に進める。 	<p>(脱炭素社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> カーボンニュートラルが達成され、さらに、徳島の温室効果ガス吸収分が他県・他国の排出分をまかなっている。 自然エネルギーが普及し、環境に配慮された持続可能な社会が実現している。 再生可能エネルギーの安定的な供給が進む。資源の再利用が進む。 学校では環境教育が推進され、社会ではエコカーが普及するとともに、徒歩や自転車による移動が増えている。 自然を壊さないよう、できる限り森林伐採を行わないようにすることに加え、ポイ捨てをしない、買い物にマイバックを持参するなど基本的なことを一人ひとりが心がける。 	<p>(経済成長(産業育成))</p> <ul style="list-style-type: none"> スタートアップ企業が大きく成長して、日本や世界経済を支える一翼になっている。多くの若者がそれらの企業を目指して徳島に集い、さらなるビジネスが生まれ、スタートアップ企業が次々と誕生している。利便性と自然環境とが調和したまちづくりがなされ、従来の大都市とは異なる活気が溢れたまちになっている。 未来技術を活用し、あらゆる仕事が効率化され人口減少時代においても経済成長が実現している。 県内に魅力的な仕事がたくさんある。 地域の特色を知り、徳島でしか出来ないことなど特別感を出す。 企業に配慮した政策を取ることで中小企業の成長につなげる。 	<p>(交通ネットワーク)</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸路・空路ともに自動運転の車両が整備され、地域の公共交通を担っている。 年齢や住む地域に関係なく、好きなときに行きたいところへ移動できる環境が整っている。(車がなくても車があるのと同じような移動ができる環境) 中山間地を中心に自動運転化された公共交通システムが確立されている。 四国新幹線が開業してJR四国とJR西日本の共同運行による四国新幹線「しおじ号」がJR新大阪駅まで営業運行している。 時間や料金を気にすることなく、自由に県内を移動することができる。
<p>(教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用したオンライン授業が当たり前になっている。 地域に住む人が、地域の次代を担う人材を育成する好循環を生み出している。 子供は減っているが、その分教育などへの補助が手厚くなっている。それにより子育てをしている若者が県外へ移住しなくなる。 進学先の選択肢を増やすなど県外から若者が集まる徳島。 学校で教育以外の将来のことについてしっかり子供に考えさせるような授業を行う。 	<p>(芸術・文化・スポーツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島の風土・食・文化の魅力が県内・全国に広がっている。 スポーツが盛んで、プロリーグで日本一を目指すレベルに達しており、若者から高齢者まですべての県民が応援するチームが複数存在している。 海上スポーツに親しみ、健康を維持できるよう、静穏な港内だけでなく、外海にも鍛錬の場を設けている。 徳島の文化芸術を継承しながら、子ども達が新しい発想で発展させている。 伝統文化と近代化を融合した徳島。(インフルエンサーによる情報発信により若者にも届く) 	<p>(県土強靱化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ハード面での災害に強いまちづくりの先進地域として全国の防災対策を先導している。 県内団体が平時の活動と災害時の活動をフェーズフリーにすることで、災害対応力を高めている。 被災した他県への支援を積極的に行うとともに、徳島の災害対応に向けての知見の集積を行っている。 大津波や巨大地震を想定した避難訓練を行い、津波避難タワーを建設する。 今の安心をいつまでも守ることのできる社会を持続できるようにする。 	<p>(環境・エネルギー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林の適正管理が図られ、持続的な生物多様性が確保されている。 海洋汚染の原因となる製品や原材料の使用が禁止されている。 自然エネルギーが普及し、環境に配慮された持続可能な社会が実現している。(再掲) 再生可能エネルギーの安定的な供給が進む。資源の再利用が進む。(再掲) すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する。 	<p>(イノベーション・起業)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少・超高齢社会となっているが、イノベーションにより、生活や地域を支える新たな技術が普及・一般化し、県民それぞれがそれらを駆使することで、不便を感じることなく、充実した生活を営んでいる。そうした徳島の姿が全国に伝わることで、徳島で暮らしたいという人が自然と集まり、活気が生まれ、さらに人が集まるといふ好循環が生まれている。 先端技術の実験場が整備され、全国のイノベーションをリードしている。 デジタル人材やものづくり人材など専門的な能力を持った人材を呼び込む。 挑戦しやすい風土づくり。 魅力的な企業を誘致する。 	<p>(観光交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> アートを切り口に観光振興を行い、観光客が増えている。 インフルエンサーによる情報発信、外国語表記の充実や姉妹都市との交流などにより、海外の人たちも来てもらえる。 他の地域から観光客や移住者が増加している徳島。 老若男女が楽しめる娯楽施設や観光スポットが充実し、町全体が楽しく活気があふれている徳島。 国内外から注目を集めるためには、「徳島にしかないもの」など特別だと思わせることが大切と考える。なので、徳島県でアピールポイントを決めて多くの人にとってもらう機会を増やしていく。
<p>(青少年育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所となる場所が地域に増えている。 高齢者と若者が助け合いながら生き生きと過ごすことができる徳島。 自分がやりたいことをできる限り続けることができるサポートや取り組み場所がある社会。 様々な職種の人との関わりを持つ機会をつくり、大人と一緒に学ぶ機会をつくることで、若者が選択・挑戦できる徳島。 各学校や企業で防犯教室を積極的に取り組んで意識を高める。 	<p>(協働・リカレント)</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての世代、生活形態にあった学びの場が提供される生涯学習が展開されている。 自分がやりたいことをできる限り続けることができるサポートや取り組み場所がある社会。(再掲) 趣味などで繋がれる機会をつくる。 何か困ったことがあれば相談できる環境を整え、人々が協力し合い助け合いながら困難を乗り越えていく必要がある。 地域のつながりを構築するためにも、世代を超えて関わるができる場所や機会を増やしていくことが必要であると思う。育児も介護も、家族だけが背負うものではなく、地域みんなが育て、介護していくもの=みんなで支え合うという文化や地域交流を推進してほしいと思う。 	<p>(医療・介護・健康づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての県民が時間や場所に縛られることなく医療を受けることができる。 山間部・過疎地域などでも遠隔診断や遠隔処方を受けられる環境が整備されている。 高齢者が安心・便利に住める集合住宅が市街地に集積するとともに、質の高い介護サービスを受けることができる。 地域偏在している医療分野でオンライン診療が浸透している。 県民意識改革と医療技術の進歩により、生活習慣病を克服し、健康寿命が100歳となっている。 	<p>(消費・食の安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> 徳島県に消費者庁並びに国民生活センターの全面移転が完了している。 消費者指向経営企業が全县に展開し、業種ごとの先進事例が蓄積されている。 昆虫食、代替肉、完全栄養食などの、生産・製造を行う先進的な企業の誘致や連携により、食料・栄養課題解決先進県として取り組みを進めている。 幼少期から大人まで「地産地消」の推進、添加物や農薬不使用の安心・安全な食物により健康な暮らしができる。 子どもたちが学ぶ機会を増やすため、高校生が主催するイベントを行うとともに、学んだ後には実際に商品化までを体験してもらうなど、エンカル消費が盛んな徳島。 	<p>(6次産業化・ブランド化)</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した農林水産業が浸透し、安定した農業経営に繋がっている。デジタルに強い若者が集まる好循環が生まれている。 徳島県産材がブランド木材として認知され、海外にも多く輸出され、県の主要産業として確立している。 徳島県が「世界の台所・世界の新鮮食料供給基地」となる。 まず、農業・漁業・林業のしっかりした後継者の育成である。農業大学校のようところで訓練・育成。その職業で生活できる人を増やすべき。 徳島県の豊かな自然と近畿の大都市圏に近いことを利用した農林水産業の推進に取り組むべき。 	<p>(地域振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内・県外の団体との連携による広域的なプロジェクトによる県内の課題解決を図っている。 地域と行政が連携し、充実したサービスが受けられる社会になっている。 東京一極集中の人口構造から地方への移住が定着し、都市部と山間部での生活に格差がなくなる。山間部での人口を保つことにより中山間地域の持つ公益的機能の維持が見込まれ、下流の都市部にも恩恵が生まれる。 若者が地元でも住み続けられるとともに、県外へ出てまた戻ってきたいと思える徳島県になっている。 地域づくりに取り組む人材が県内外を問わず、徳島に関わっている。